



5/20

新所区自主防災クラブに防災資機材配備

宝くじ社会貢献広報事業

新所区自主防災クラブに、防災資機材倉庫とチェンソーや発電機などの防災資機材が配備されました。

これは、昨年の九州北部豪雨災害で甚大な被害を受けた同自主防災クラブの要望を受け、財団法人自治総合センターが行う平成25年度コミュニティ助成事業を活用して配備されたものです。

新所区長の丸野健雄さんは、「災害が起きないことを願いながら、配備いただいた備品をいつでも使えるようきちんと維持管理し、永く大切に使います。ありがとうございました」と話されました。



新所区自主防災クラブに配備された防災資機材の数々

5/20

心を一つに

村内中学校で春の体育大会開催

村内中学校（白水・久木野・長陽）と久木野小学校の体育大会が5月18日から20日にかけて開催されました。

19日に開催予定だった長陽中学校（田邊鶴芳校長）の体育大会は雨天のため翌日20日に延期。平日の開催でしたが、多くの保護者たちが応援に駆け付け、南阿蘇西小学校の6年生も100m走に参加するなど大会を盛り上げました。

全男子の演技「元祖ソーラン節」では、上半身裸になった生徒たちが力強い演技を披露。学年対抗の長縄跳び「みんなでジャンプ」では、息の合ったジャンプで盛り上がりを見せ、会場からは声援が送られました。



力強さを見せた全男子演技「元祖ソーラン節」

5/26

ミヤマキリシマ満開

第7回 烏帽子岳山開き登山

阿蘇五岳の一つ「烏帽子岳」の山開き登山が開催され、登山愛好家約250人が高さ1,337mの頂上を目指しました。

参加者たちは午前9時30分に池の窪駐車場を出発。高低差約550m、草千里を経由する片道6キロの道のりを約2時間かけて歩きました。

昨年は悪天候で霧に包まれていた山頂も、今年は晴天に恵まれ、大パノラマを望むことができました。ミヤマキリシマも満開を迎え、参加者たちは喜びの歓声をあげていました。



大パノラマを望む参加者たち

5/25

汗ばむ陽気の中南阿蘇村を散策

南阿蘇さわやかウォーク in アスペクタ開催

毎年恒例の「南阿蘇さわやかウォーク in アスペクタ」が久木野地区一帯で開催され、村内外から1,800人の参加者が南阿蘇村を満喫しました。

参加者たちは午後0時30分にアスペクタをスタート。久木野小学校を通り、用水路沿いを歩く5キロコースと、さらに久木野神社まで歩く10キロコースに分かれ散策。この日は汗ばむ陽気で、途中ソフトクリームを食べながら休憩する姿も見られました。

毎年参加している菊池市の男性は、「今年は5キロコースにしたので、後ろ向きで歩きながら景色を満喫しました」と話されました。



汗ばみながらも足取り軽い参加者たち

5/26~6/2

個人庭園を開放

第2回「南阿蘇・庭・めぐり」開催



盛り上がりを見せたオープニングコンサート「ナチュラルガーデン南阿蘇」

個人の庭を開放する「南阿蘇・庭・めぐり」が南阿蘇村と高森町の7カ所で開催され、花咲き誇る庭を一目みようと村内外から多くの人々が訪れました。

本村では、4カ所の個人庭を開放。ビオラやキャットミントなど可愛らしく手入れされた庭や、100種類を超えるバラ、雑木林に咲き乱れる花の数々、阿蘇五岳を背景に解放感溢れる庭園がお披露目されました。

25日は、「ナチュラルガーデン南阿蘇」でオープニングコンサートが開催され、来場者は花に囲まれながら癒しのひと時を過ごしました。



可愛らしく手入れされた「ガーデンサロン南阿蘇」



キャットミントが咲き乱れる「あそ望の郷くぎのお花のガーデン」



100種類を超えるバラの庭園「久保邸」

5/30

ナイスショット

第15回南阿蘇村村おこしゴルフ大会

第15回を迎えた「南阿蘇村村おこしゴルフ大会」が南阿蘇カントリークラブで開催され、196人のゴルファーが爽快なプレーを楽しみました。

大会は、18ホール・ストロークプレーのダブルペリア方式。当日は、小雨が降りあいにくの天気でしたが、千葉県や福岡県など、九州内外から多くの参加者がありました。

同ゴルフ大会は年に2回開催。秋にも開催される予定です。



ホールインワンを狙う参加者

5/27

おいしく育ってね

両併小学校で田植え

両併小学校（後藤利恵子校長）の全校児童32人が、地元の棚田組合（田上實徳組合長）の協力のもと田植えをしました。

植えられたのは、2アールの田んぼに収穫量約80キロのもち米の苗。田上組合長から、植え方の説明を受けた児童たちは、田んぼに並ぶと、先生の掛け声に合わせて田植えを始めました。手元の苗がなくなると、組合の方たちから苗を投げてもらい、飛び跳ねる泥に児童たちは悲鳴をあげながらも田植えを楽しんでいました。

冬には収穫したもち米で、餅つきが行われる予定です。



棚田組合の皆さんと田植えを楽しむ児童たち



6/3~6/7

緊張の面持ちで職場体験

久木野中学生が職場体験

久木野中学校（坂梨光一校長）の2年生18人が、村内11カ所の飲食店や工房などで職場体験を行いました。

受け入れ事業所の一つ「Yショップさかた」（第8駐在）では、家入美咲さんと尾前杏奈さんの2人が体験。商品の期限切れチェックや、レジ打ちなどを体験しました。

5日間の体験を通して2人は、「はじめは緊張したけど、今は楽しく感じます。お店に来られたお客さんから「頑張ってるね」との励ましの言葉をいただきました」と笑顔で感想を話してくれました。



笑顔で接客する久木野中学校の生徒たち

6/4

名付け親は修学旅行生

長崎幸徳さん宅に子馬誕生（第三駐在）

畜産農家をされている長崎幸徳さん宅（第三駐在）に子馬が誕生しました。

子馬は、6月4日の午前2時に誕生。体重約60キロのオスで栗色の毛。鼻筋と足には白い模様が入っています。

この日は、兵庫県神戸市の星和台中学校の生徒80人が修学旅行で民泊。長崎さんも3人の生徒を受け入れられ、子馬の誕生と遭遇した生徒たちは、「桃太郎」と命名しました。

長崎さんは、「修学旅行生を受け入れる日に子馬が生まれてよかった。よい思い出ができたと思います」と笑顔で話されました。



「桃太郎」と命名した修学旅行生と長崎さんご夫妻

6/1

阿蘇外輪山を力走

第23回「阿蘇カルデラスーパーマラソン大会」開催

23回目を迎えた「阿蘇カルデラスーパーマラソン大会」が開催され、1622人のランナーが参加しました。

同大会のコースは、温泉センターウィナスをスタートする100kmの部（1013人）と、阿蘇市波野支所スタートの50kmの部（609人）。阿蘇カルデラの外輪山を反時計回りに力走しました。

100kmの部は、阿蘇五岳太鼓の力強い太鼓演奏と共に午前5時にスタート。5kmごとに設置されたエイドステーションでは、パンやバナナ、10km地点では「そうめん」などが振る舞われ、選手たちは完走に向け栄養を補給していました。



「そうめん」を堪能するランナーたち

6/4

税の徴収体制を強化

県職員に辞令交付

県税・市町村税の徴収向上を目指すことを目的に、県広域本部収税課特別対策班の職員5人に長野村長から併任徴収に関する辞令が手渡されました。

県と村は、平成23年度から一体となって滞納税徴収に取り組んでおり、滞納整理を進めています。

辞令交付では長野村長が「県も一緒になって徴収に取り組んでいただくことは大変心強い」とあいさつしました。

4月には、阿蘇郡市7市町村で併任徴収の協定を締結。今後、徴収がさらに強化されます。



長野村長から辞令が手渡される県職員

6/7 九州北部豪雨災害を踏まえて 平成25年度南阿蘇村防災会議・水防協議会

平成25年度の「南阿蘇村防災会議・水防協議会」が久木野庁舎集会ホールで開催され、村内の災害発生危険箇所や、村地域防災計画の修正などについての説明がありました。

会議には、陸上自衛隊第42普通科連隊や熊本地方気象台、高森警察署、阿蘇広域消防本部、消防団幹部、村関係者など75人が出席。

村地域防災計画では、東日本大震災や昨年の九州北部豪雨災害の検証を踏まえて、「夕方、明るいうちからの予防的避難」や「学校教育における防災知識の普及」、「自主防災組織の育成・指導・普及」の推進などが盛り込まれました。



村地域防災計画などについて協議する関係者

6/5 自然環境の保全調査に取り組みます 自然環境保全審議会委員委嘱状交付

任期満了に伴う、南阿蘇村自然環境保全審議会委員の委嘱状交付式が久木野庁舎で行われ、区長6人に長野村長から委嘱状が手渡されました。

任命されたのは、桐原宜春さん（白川）、高宮幸生さん（中松一）、甲斐清年さん（第一駐在）、佐藤伸雄さん（第二駐在）、今村忠継さん（東下田）、古庄則光さん（袴野）の6人で、任期は2年。

自然環境保全審議会の職務は、村長の諮問に応じて自然環境の保全や水質汚濁、騒音など公害を防止するための調査審議を行います。



自然環境保全審議会委員に任命された皆さん

6/14 ショウブの花満開 後藤守さん（両併二）

両併二区に在住の、後藤守さんと妻カツミさんが栽培されているショウブの花が満開を迎えました。

ショウブの花は、後藤さんの自宅前にある休耕田約200坪を利用して栽培。白や紫、黄色の花など約15種類が一面に咲いています。

栽培を始められたのは、亡き父敏さんが数株育てていたのがきっかけ。敏さんの後を継ぎ、株分けしながら約半世紀かけて増やされたそうです。

今では、一日約50人の人が花を見に訪れるそうで、後藤さんは「自分たちの趣味で植えた花ですが、多くの人たちに喜んでいただきたいと思います」と笑顔で話されました。



ショウブの花を栽培されている後藤守さん

6/14 努力実って「世界で金」 徳永知花さん（白水中学校3年）

6月8日から、チェコ・プラハ市で開催された知的障害者の世界大会「2013 INAS 陸上世界選手権大会」女子400mリレーで、徳永知花さんの日本チームが54秒17の日本新記録で優勝しました。

徳永さんは体重486gの「超低出生体重児」で誕生。小学4年生で出場した村陸上記録会がきっかけで陸上を始め、家族や友人の支えを受けながら、練習に励みました。

優勝の喜びを徳永さんは「はじめは2位と思っていたけど、1位とわかり、『やったあ』と思いました。また練習をして世界大会に出たいです」と話してくれました。



金メダルに輝いた徳永知花さん